

比較思想学会 第46回大会

2019年6月15日(土)・16日(日)

パネルディスカッション・シンポジウムは市民公開(参加費無料)

第1日目 6月15日(土)

パネルディスカッション(哲学ホール)

15:00~17:00

世界哲学をリードする日本哲学

■ 提題者

張 政遠 (香港中文大学 講師)

フェリペ・フェハーリ・ゴンサルベス (名古屋外国語大学 非常勤講師)

ロマン・パシュカ (京都大学 助教)

■ 司会: 井上 克人 (関西大学 教授)

コメンテーター: 納富 信留 (東京大学 教授)

コーディネーター: 上原麻有子 (京都大学 教授)

個人研究発表(哲学ホール/4階研修室)

13:00~14:45

第1部会

(哲学ホール)

■ 司会: 森上 優子 (文部科学省 教科書調査官)

1. 西田哲学とヴント心理学の「直接経験」

—その無基体的性格について—

中嶋 優太 (西田幾多郎記念哲学館 専門員)

2. 近代真言宗の教学における西田哲学の受容とその関係性

坂本 慎一 (PHP研究所 主事)

3. 戦後無教会キリスト教と西田哲学

—「無信仰の信仰」の提唱に着目して—

村松 晋 (聖学院大学 教授)

第2部会

(4階研修室)

■ 司会: 相楽 勉 (東洋大学 教授)

1. 十九世紀中国における靈魂と身体の問題

—譚嗣同『仁学』における「心」の概念をめぐる—

胡 婧 (上智大学大学院文学研究科)

2. バウムガルテンの『美学』の再評価

—俳句との融和性を通して—

阿部 旬 (大正大学他 非常勤講師)

3. 教典と共同体

—比較教典研究の可能性について—

宮嶋 俊一 (北海道大学大学院 准教授)

第2日目 6月16日(日)

シンポジウム(哲学ホール)

13:00~16:00

西田幾多郎と鈴木大拙 —比較思想の視座から—

■ 基調講演 西田幾多郎と鈴木大拙 —親鸞という交差点—

木村 宣彰 (鈴木大拙館 館長、大谷大学 名誉教授)

■ シンポジウム ショーペンハウアーとの関連から見た西田幾多郎と鈴木大拙

横田 理博 (九州大学大学院 教授)

「世界」と「靈性」—世界形成と平和の問題をめぐる—

水野 友晴 (日独文化研究所 事務局長)

E.フロムと鈴木大拙 —戦後東西思想の影響の一側面—

大熊 玄 (立教大学准教授、西田幾多郎記念哲学館 副館長)

■ 司会: 浅見 洋 (西田幾多郎記念哲学館 館長、石川県立看護大学 特任教授)

個人研究発表(哲学ホール/4階研修室)

10:00~11:45

第1部会

(哲学ホール)

■ 司会: 今村 純子 (一橋大学 非常勤講師)

1. ベルクソンと柳宗悦の芸術批評における身体性と宗教性

川里 卓 (名古屋大学大学院人文学研究科)

2. 予測と対処とは別の仕方未来を想像することの正当性

—和辻哲郎とアンリ・ベルクソン—

太田 和彦 (総合地球環境学研究所 研究員)

3. ベルクソンと唯識が語る苦の源泉

近藤 伸介 (佛教大学 研究員)

第2部会

(4階研修室)

■ 司会: 護山 真也 (信州大学 准教授)

1. 習慣概念とその意義を巡る比較考察

—ギルバート・ライルとフッサール、メルロ＝ポンティを中心に—

増田 隼人 (東洋大学大学院文学研究科)

2. 九鬼哲学の「自然」思想に関する一考察

—老荘思想との比較を通して—

石 瑩 (日本女子大学人間社会研究科)

3. 瞬間(刹那)と可分性・不可分性

—現代形而上学のstage theoryと仏教の刹那滅論—

酒井 真道 (関西大学 准教授)

会場: 西田幾多郎記念哲学館

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1 TEL.076-283-6600

後援: かほく市